

西岡見聞録

6月の西岡公園見どころは!?

初夏を迎える西岡公園では、動植物がいよいよ活気づきます。散策路周辺ではちょっと不思議な姿をした植物を目にする事でしょう。湿った林床の落ち葉の隙間を探してみると、葉緑素を持たない腐生植物の「ギンリョウソウ」が透明感のあるなんとも神秘的な出で立ちをしています。散策路では他にもイチヤクソウの仲間が顔を出し始めます。西岡公園にはイチヤクソウという名を含む花が4種ありますので、見比べてみるのも楽しみ方の1つです。この時期にはトンボも飛び始め、橙色の翅を持つオスのニホンカワトンボの美しい姿が木道付近でよく見られます。交尾の際にはハート型になるのでその瞬間も一見の価値あります！ぜひ皆さまのご来園お待ちしております。

【西岡公園で6月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2018.6.3 札幌支部HPより)

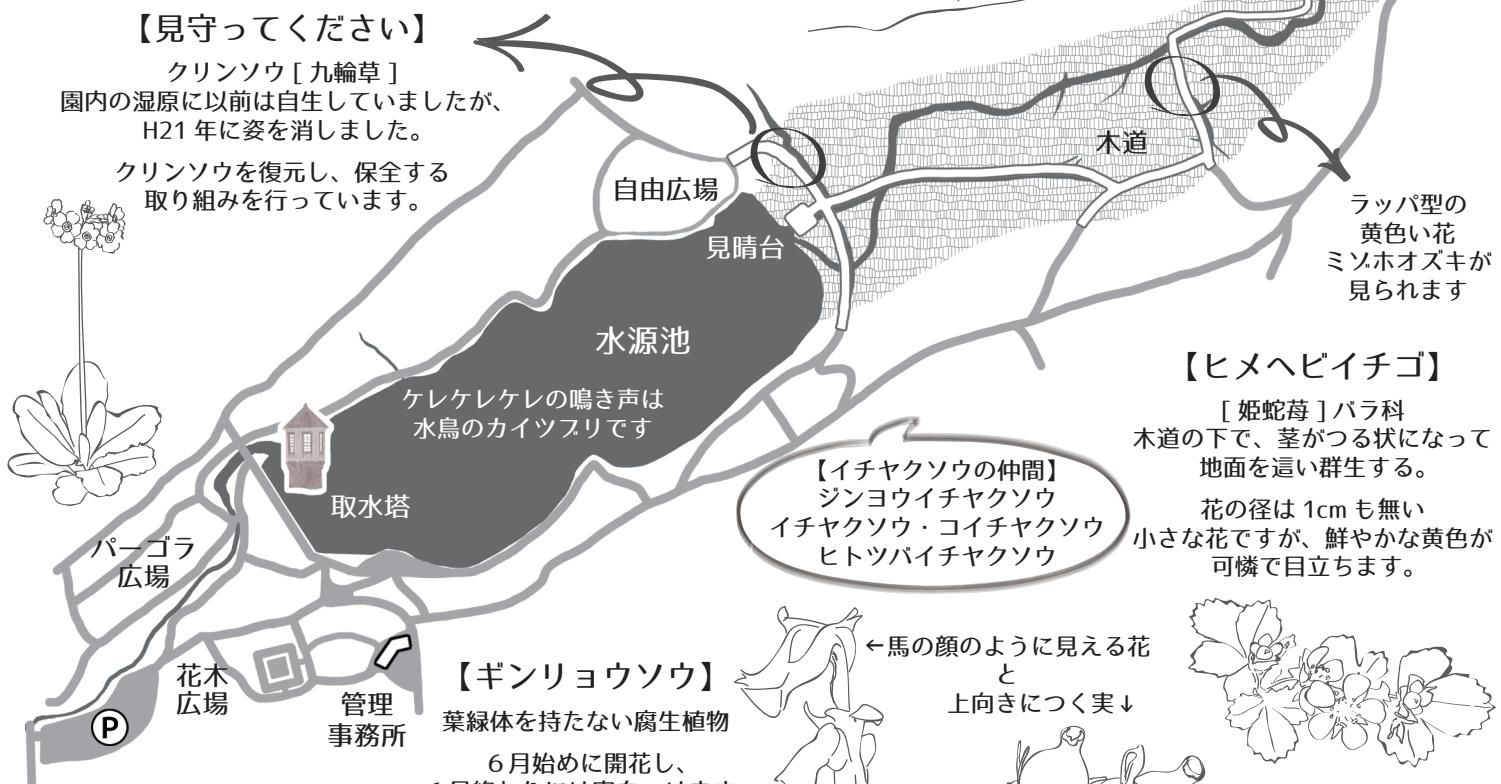
- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| ・マガモ | ・アカゲラ | ・センダイムシクイ |
| ・カイツブリ | ・ハシボソガラス | ・コサメビタキ |
| ・キジバト | ・ハシフトガラス | ・キビタキ |
| ・ツツドリ | ・ハシフトガラ | ・オオルリ |
| ・ハリオアマツバメ | ・シジュウカラ | ・キセキレイ |
| ・トビ | ・ヒヨドリ | ・カワラヒワ |
| ・カワセミ | ・ウグイス | ・アオジ |
| ・コゲラ | ・ヤフサメ | |
| ・オオアカゲラ | ・オオムシクイ | |

【見守ってください】

クリンソウ [九輪草]

園内の湿原に以前は自生していましたが、H21年に姿を消しました。

クリンソウを復元し、保全する取り組みを行っています。

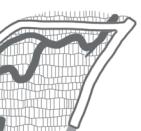


【センダイムシクイ】

スズメより一回り小さく
なかなかその姿を見せてはくれませんが
鳴き声はよく聞いているはず。



「チヨチヨビィー」と鳴く声は
「鶴千代君ー！」(ツルチヨギミー) や
「焼酎一杯グィー」と
聞こえるそうです。

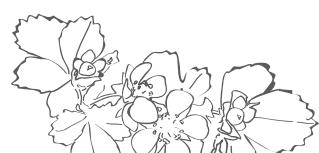


ラッパ型の
黄色い花
ミソホオズキが
見られます

【ヒメヘビイチゴ】

[姫蛇苺] バラ科
木道の下で、茎がつる状になって
地面を這い群生する。

花の径は1cmも無い
小さな花ですが、鮮やかな黄色が
可憐で目立ちます。



【イチヤクソウの仲間】
ジンヨウイチヤクソウ
イチヤクソウ・コイチヤクソウ
ヒトツバイイチヤクソウ



←馬の顔のように見える花
と
上向きにつく実↓



【ギンリョウソウ】

葉緑素を持たない腐生植物

6月始めに開花し、
6月終わりには実をつけます。

実は球形で、中には果肉と多数の
微小な種が詰まっています。